

開演！劇団 Max Smile

— 教材文「ニャーゴ」 —

2年国語科 2月〈14時間〉
 附属新潟小学校 教諭 里村 種

1 本単元で目指す姿
言葉と言葉とを関係付けて読み、猫の人物像をとらえる子ども
 具体的には、「言葉による見方・考え方」を働かせ、猫の言動に関する言葉を基に猫の行動や心情を具体的に想像する力等を発揮して、猫の人物像を表現している姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
国語科	○ 言葉の働きや文の中における主語と述語との関係に関する知識・技能	○ 猫の言動に関する言葉を基に猫の行動や心情を具体的に想像する力	○ 人物像の根拠となる言葉を見付けるために読もうとする態度

3 単元の計画

次	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	時
一次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動を知り、学習に対する意欲を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・先生からのお願いが分かったよ。 ・なるほど。音読劇とは、あの動画のようにするのだな。 ・音読劇で1年生に「ニャーゴ」を紹介してあげよう。 ○ 教材文の内容の大体をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物は、「ねずみの先生」「三匹の子ねずみ」「猫」だね。 ・先生の話を聞いていなかった三匹の子ねずみが猫と出会ったね。 ・その後、三匹の子ねずみと猫で、桃を採りに行ったよ。 ・帰り道で、三匹の子ねずみが猫にお土産の桃を全部あげたよ。 ○ 役割を決めて、生活班で音読練習に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさや速さを考えて音読の練習をしようよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1学年担任からの依頼という形で言語活動「音読劇で『ニャーゴ』を1年生に紹介すること」を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 依頼を、動画と文章とで提示する。 ※ 別の物語の音読劇を、モデルとして動画で見せる。 ◆ 教材文「ニャーゴ」と出会った後に登場人物と出来事とを問う。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 次の観点を提示して、範読を聞かせたり、一斉音読等を行わせたりする。 ①登場人物は誰か ②出来事は何か ※ 教材文を拡大した掲示物を用いて、子どもから挙げられた登場人物や出来事の叙述に線を引き、登場人物と出来事とを全体で確認する。 ◆ 音読の役割を提示して、音読練習に取り組ませる。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 役割分担を円滑に行えるように、予め音読の役割を提示する。 	4時間
二次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 猫の人物像を考え、根拠とした言葉を表出する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ ずる賢い猫だ。子ねずみたちと一緒に桃を食べているときに『おなかいっぱいになったら、こいつらが食べられなくなるからな』とっていて、子ねずみたちをだまして食べようとしているから。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問いをもち、「言葉による見方・考え方」を働かせ始める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ええ、何で。僕が考えていた言葉と違う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ どうしてその言葉から、どのような猫なのか分かるのかと思ったからです。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 言語活動「音読劇開演を伝えるポスターをつくること」とポスターの形式とを提示し、猫の人物像と根拠とした言葉とを問う。 <ul style="list-style-type: none"> ※ ポスターの上段に設けた欄に、お気に入りの場面の絵を描かせる。 ※ 猫の人物像と根拠とした言葉とを記入するワークシートを配付する。 ◆ 猫の人物像の根拠となる言葉を複数例示し、感じた疑問とその理由とを問う。【働き掛け1】 <ul style="list-style-type: none"> ※ 前時の記述を基に、多く挙げられていた猫の人物像（性格や人柄）を伝える。 ※ 次の言葉を例示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・おなかいっぱいになったら、～。 ・ニャーゴ できるだけこわい顔でさげびました。 	5時間

『ニャーゴ』に出てくる猫を、どのような猫と紹介するか。(学習課題)

- 「言葉による見方・考え方」を明確にもち、課題解決の見通しをもつ。
 - ・猫の言った言葉やした言葉だ。
 - ・猫の言った言葉やした言葉を見つけて、その言葉から猫の気持ちを考えれば猫がどのような猫かが分かる。
 - ・そのために、もう一度教科書を読もう。
★国語科③
 - ・その言葉から分かることを広げたいから、ウェビングマップを使いたい。
- 言葉を吟味し、猫の言動に関する言葉から猫の心情を解釈し、解釈の交流をする。★ツール活用能力 ★協働性
 - ・1回目と2回目の「ニャーゴ」は、やっぱりねずみを食べようと思っているよね。
 - ・でも、3回目の「ニャーゴ」は、小さな声で言っていて、「ありがとう」という気持ちになっていると思う。
 - ・ねずみたちの優しい気持ちが分かって、猫も優しい猫になったと思う。
 - ・「ありがとう」という気持ちは、「ももをだいじそうにかかえたまま」というところからも分かると思う。
★国語科①②
- 必要な言葉を判断し、猫の人物像を表現する。

○ このお話に出てくる猫は、ちょっとずる賢いけれど、実は優しい猫です。始めは、「こいつらが食べられなくなる」とねずみたちのことを思っていたけれど、ねずみたちが優しくしてあげたら、最後には桃を大事そうに抱えて、小さく「ニャーゴ」と答えます。最後の「ニャーゴ」から、猫の「ありがとう」という優しい気持ちが分かります。

- 発揮した資質・能力を自覚する。
 - ・お話の中から、猫の言ったり、したりしている言葉を見付けることができた。
★国語科①
 - ・猫の言ったり、したりしている言葉から、猫の気持ちを考えることができた。
★国語科②
 - ・どんな猫かが分かる言葉を探しながら、お話を読むことができた。
★国語科③

三
次

- 完成させたポスターを使って、1年生を音読劇に招待する。
 - ・このお話には、ちょっとずる賢いけれど優しい猫が出てくるよ。
- 生活班ごとに、音読劇の準備を進め、音読練習に取り組む。
 - ・ここでの猫は優しい気持ちだから、柔らかい声で読むようにしましょうよ。
- 音読劇を行う。
 - ・1年生から「とっても面白かった」と言われたよ。1年生が喜んでくれて、音読劇をしてよかったな。

- ・ももをだいじそうにかかえたまま
- ・ニャーゴ 小さな声で答えました。
- ※ 挙げられた疑問と理由とをまとめて、学習課題を設定する。
- ◆ 例示した言葉を分類して分かることを問うた後、それぞれの言葉から猫の何が分かるとどのような猫かを考えられるか、考えるためにどうするかを問う。【働き掛け2】
- ※ 例示した言葉を、言動で分類して提示する。
- ※ 必要に応じ、子どもの発言内容や発言内容の理由を全体に問い返す。
- ◆ 個人で読む場を設定した後、どの言葉からどのような猫の心情が分かったのかを伝え合う場を設定する。【働き掛け3】
- ※ ウェビングマップを配付する。
- ※ 選んだ言葉とその言葉から分かる猫の心情とを問い、拡大した教材文に書き込んでいく。
- ※ 子どもの発言に応じて、拡大した教材文の言葉を線でつないでいく。
- ※ 必要に応じ、子どもの発言内容や発言内容の理由を問い返す。

- ◆ 課題解決のために必要な言葉を問い、言語活動に応じた表現の場を設定する。【働き掛け4】
- ※ ポスターを配付し、記述する欄を指示する。
- ※ 数名の子どもを指名し、「ニャーゴ」に出てくる猫をどのような猫と紹介するのかを問う。

- ◆ 「分かったこと・できたこと」という二つの観点を提示して、学習の振り返りの場を設定する。【働き掛け5】
- ※ 振り返りのワークシートを配付する。

- ◆ 子ねずみたちの人物像を記述する欄を配付し、子ねずみたちの人物像を問う。

- ◆ 音読劇開演を伝えるポスターを完成させ、1年生を招待する場を設定する。
- ※ 開催日時や開催場所と合わせて、猫の人物像も紹介させる。
- ◆ 猫の人物像を基に、再度、音読練習に取り組ませる。
- ※ 音読劇に必要なお面や小道具などをつくらせる。
- ◆ 音読劇を開催する。
- ※ 1年生からの感想を伝えてもらう場を設定し、他者評価を受けることができるようにする。

5
時
間